

第34回鍛造分科会実務講座

「グローバル化時代に生き残る鍛造技術」

日時：平成19年2月7日（水）・8日（木）

会場：相模原市市立産業会館

〒229-0039 相模原市中央3丁目12番地1号 電話 (042) 768-2311]

地図別紙

交通：JR・横浜線相模原駅南口より徒歩20分、バス8分（バスの便、多数あり）

主催：(社)日本塑性加工学会 鍛造分科会

趣旨：

中国をはじめ、近隣アジア諸国の製造力の増強は目覚しく、インドもすぐ追随する勢いがあります。アジアのみならず欧米との競争に打ち勝ち、国内において製造活動を持続するためには戦略が必要です。今、実際に活躍中の企業人を講師として迎え、グローバル化の現状、職場における鍛造技術の改善の取り組み、新しい固有技術の開発状況などを紹介して頂き、意見交換をする機会を設けました。また、技術相談の時間も設けましたので、ぜひ参加してくださいませようお願いします。

プログラム：別紙

定員：80名（定員になり次第締切り、定員後はメールでご連絡します。）

参加費：鍛造分科会委員 18,000円、塑性加工学会会員、一般 24,000円、学生会員 半額

（以上いずれもテキスト1冊つき、昼食は2日間ともつきません）

懇親会費：3,000円

申込方法：別紙申込書またはEメールでお申し込みください。

Eメールでのお申し込みの場合は、見出しを「34回実務講座」とし、(1)氏名、(2)会員資格、(3)勤務先、所属、(4)連絡先（住所・所在地、電話番号、FAX番号、Eメール等）、(5)工場見学および懇親会に参加の有無を記述してお申し込み下さい。参加券および請求書を郵送します。到着後参加費を振り込んでください。

申込先：鍛造分科会事務局 〒235-0043 横浜市磯子区氷取沢町 150-4-14-104 西山方

Tel/Fax:045-771-4709、E-mail：nkatsue@oregano.ocn.ne.jp

振込先：三菱東京UFJ銀行 金沢文庫駅前支店 普通預金口座 0101189

名義：日本塑性加工学会鍛造分科会

その他：1) 同業者の工場見学はご遠慮願います。

2) 実務講座開催期間は受験期間と重なります。八王子界限は受験生の宿泊が多くなりますので、早めのホテル確保が必要です。申し訳ありませんが、分科会としては特に参加者に対してのホテル指定はいたしませんので、各人でお申し込みをお願いいたします。

第一日目：2月7日（水）

午前の部（10：00～12：00）

司会 小豆島 明 君

午後の部（13：00～15：00、15：20～17：20）

司会 戸田 正弘 君

時 間	内 容	講 師
10:00～ 10:40	トヨタにおけるグローバル生産のための鍛造技術： グローバルに通用するために取り組んだ「シンプル・スリムな鍛造生産ライン」を紹介する	トヨタ自動車(株) 森下 弘一 君
10:40～ 11:20	鍛造部品のグローバル生産： 鍛造部品のグローバル供給に関し、生産の考え方や工程作り込みの課題について事例を交えて述べる	(株)デンソー 佐藤日出之 君
11:20～ 12:00	インド・東南アジア諸国の鍛造業とプレス の販路拡大：自動車産業の活況に伴う現地鍛造業の実情とプレス拡販事情	榎本機工(株) 榎本 良夫 君
12:00～ 13:00	昼 食	
13:00～ 13:40	最近のプレス機械の動向 ネットシェイプ成形を目指して開発された高精度・高剛性・高機能のプレスを紹介する	アイダエンジニアリング(株) 中野 隆志 君
13:40～ 14:20	最新のパーツフォーマの動向： 最近の圧造機への高精度化、多段化、大型化の要望に対応する新技術や取組みに関して報告する	旭サナック(株) 松浦 富康 君
14:20～ 15:00	塑性流動を活用した一味違う小物プレス加工技術： 高度な塑性加工技術による高精度・高付加価値のプレス加工事例を紹介する	(株)ソーデナガノ 早出 隆幸 君
15:00～ 15:20	休 憩	
15:20～ 16:00	中堅自動車部品メーカーが取組む生産技術開発： 高機能部品を各生産工程擦り合わせのものづくりで目指す姿を事例で紹介する	(株)ユニバンス 鈴木 正 君
16:00～ 16:40	1600N/mm² 級超高強度ボルトの開発： 自動車の軽量化のため、成形困難な高張力鋼線をボルトに適用し、世界初の超高強度ボルトを開発	(株)本田技術研究所 高島 光男 君
16:40～ 17:20	焼結アルミニウム鍛造部品の製造方法： 特徴ある金属組織、材料特性を有する焼結アルミニウム鍛造部品の製造方法について紹介する	日立粉末冶金(株) 市川 淳一 君
17:30～ 19:00	懇親会	

第二日目：2月8日（木）

午前の部（9：30～12：30）

司会 篠崎吉太郎 君

午後の部（13：30～16：00）

工場見学

時 間	内 容	講 師
9:30～10:10	超微細粒鋼鋼線の特性と製品用途： 超微細粒化による高強度化（軽量化）・高靱性・環境負荷の低減の特性と今後の展望について紹介する	大阪精工(株) 大西 一聡 君
10:10～ 10:50	高強度・高靱性マグネシウム合金の開発： NEDO 事業で開発中の同合金が従来と同等の伸びでTS、YS を 50%増加できる製造技術	(株)栗本鐵工所 閻師 昭彦 君
10:50～ 11:30	アルミニウム合金の鍛造： 環境 CSR が叫ばれている時代において、種々のアルミニウム合金を鍛造及び複合鍛造をした実施例を述べる	宮本工業(株) 宮本 一穂 君
11:30～ 12:30	コンサルテーション及び総合討論	全員
12:30～ 13:30	昼 食	
13:30～ 14:00	バスにて、アイダエンジニアリング(株)へ移動	
14:00～ 14:30	会社説明	アイダエンジニアリング(株)
14:30～ 16:00	工場見学	坂本 雅治 君
16:30頃	バスにて J R 橋本駅へ移動、解散	